

我々人類は、どう進化してきたのだろうか？

11月17日(木)、社会科の池田晴菜先生が授業を公開しました(1年7組)。本時は、人類がどう進化してきたかを、資料から読み取り、考察することがねらいです(右図1～3)。



晴菜先生の「おー素晴らしい!」「それ良くきづいたね～」と、少し大きめに褒める姿がステキで、生徒は言葉のシャワーを浴びているようでした。

Kさんにインタビュー 『今日の授業でわかったことは?』

歩くことしかできなかった人類が、長時間をかけて脳が発達して精神的にも進化した。最初に道具を創った人はすごい!

本時は、どちらかというと、先生がリードして図1～3を順序よく生徒に考察させ、説明していましたが、例えば、①図1～3を一気に提示し『人類ってどう進化してきたの?』と発問⇒②生徒は写真から読み取ったことをホワイトボード等にまとめる⇒③生徒の気づきを共有する⇒④生徒の発表から用語を補う(例:土器→打製石器という)、という授業の流れも検討していきたいです。説明く発問、先生の声く生徒の声となる授業づくりを共に学びたいです。晴菜先生、ありがとうございました。



図1 二足歩行の猿人(約700万年前)



図2 言葉を使う原人(約240万年前)は言葉



図3 火や武器を使う新人(約1万年前)

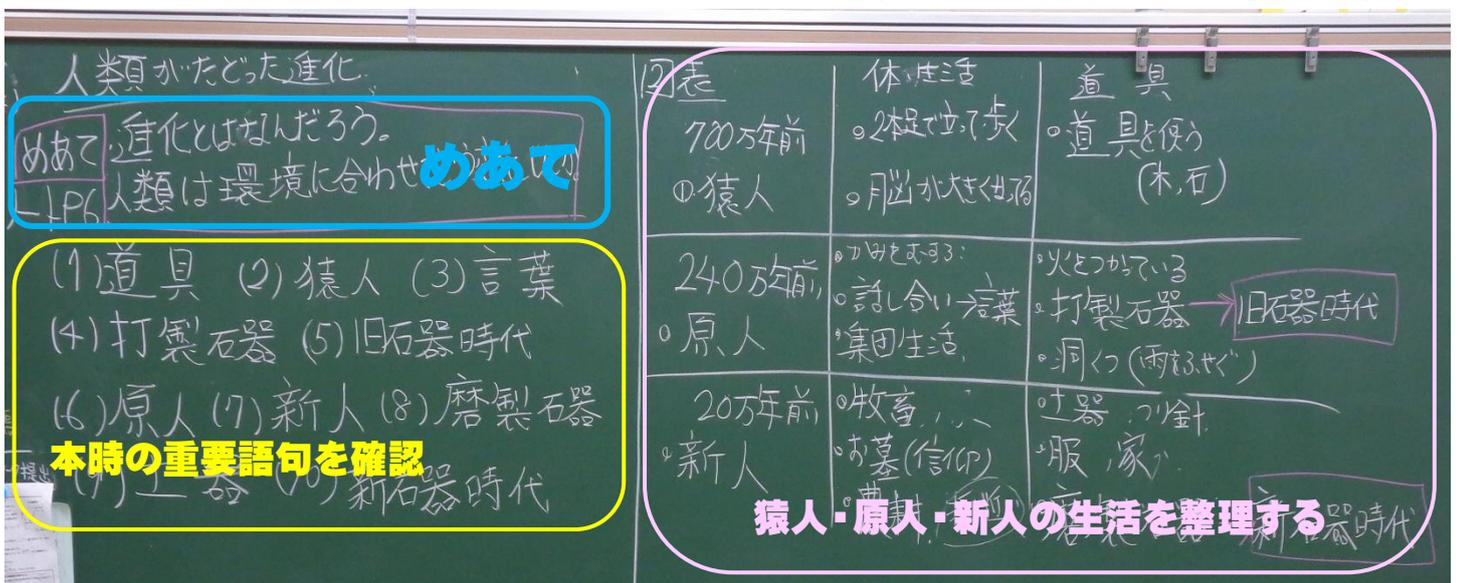


図4 人は環境に合わせて、どのように進化してきたかを資料から読み取り、考察する。